実技試験曲目一覧

すべてのコース・課程において，実技試験カードに記入した曲目順に演奏すること。
また，ピアノ課程及びピアノ演奏家課程の受験生は，各試験曲の演奏時間を，実技試験カードに記入すること。

ピ　ア　ノ	
ピアノ課程 ・総合型選抜Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ・学校推薦型選抜B・C ・社会人入学試験Ⅰ期・Ⅱ期 ・外国人留学生入学試験Ⅰ期・Ⅱ期 ・帰国子女入学試験	任意の自由曲１曲を演奏すること。**（暗譜）** ※楽曲により，楽譜のコピー提示を求める場合は，後日直接受験生に連絡する。
ピアノ課程 ・一般選抜 ・大学入学共通テスト利用選抜 （前期日程･後期日程）	下記のＡ又はＢより任意の１曲と，Ｃ．自由曲１曲の計２曲を演奏すること。（暗譜） Ａ．下記練習曲集より任意の１曲 Chopin,Clementi,Cramer-Bülow,Czerny,Moscheles,Moszkowski Ｂ．下記曲集より任意の１曲 Bach　インヴェンションとシンフォニア，又は平均律曲集第１巻及び第２巻よりフーガのみ。 Ｃ．自由曲１曲 ソナタ，組曲からの抜粋は可。ヴァリエーションの抜粋は不可。 ※暗譜で演奏すること。演奏順序は各自で決定して良い。楽曲の一部省略などはしてはならない。繰り返しはしなくてよい。 ※楽曲により，楽譜のコピー提示を求める場合は，後日直接受験生に連絡する。
ピアノ演奏家課程	下記のＡＢＣ計４～５曲を演奏すること。（暗譜） Ａ．下記練習曲集より任意の２曲 Chopin練習曲集op.10，25より任意の２曲。 ただし，op.10-3,6　op.25-2,7は除く。 Ｂ．下記曲集より任意の１曲 Bach　平均律曲集第１巻，第２巻より任意の１曲。 ただし，第１巻10番BWV.855は除く。 Ｃ．自由曲１～２曲 ソナタ，組曲からの抜粋は可。ヴァリエーションの抜粋は不可。 ※任意に選んだ楽曲の演奏時間が，曲間を含まずに必ず合計で15分以上となるように選曲し，暗譜で演奏すること。演奏順序は各自で決定して良い。楽曲の一部省略などはしてはならない。繰り返しはしなくてよい。 ※楽曲により，楽譜のコピー提示を求める場合は，後日直接受験生に連絡する。
管　弦　打　楽　器	
管弦打楽器課程	練習曲又は独奏曲より任意の１曲を５分程度以内で演奏すること。 暗譜でなくてよい。 受験上の注意 （注①）　各楽器共，無伴奏で演奏すること。 （注②）　**試験曲の楽譜を（変更やカットを含み，記入事項があれば記入して）提出すること。** （注③）　各自，楽器を持参すること。 ただし，やむを得ず楽器を持参できない場合には，実技試験カードの楽器借用欄の「要」に○印をつけること。 なお，打楽器の受験生は，各自スティックを持参すること。
管弦打楽器演奏家課程	専攻楽器別課題曲一覧を参照のうえ，演奏すること。 受験上の注意 （注①）　各楽器共，無伴奏で演奏すること。 （注②）　**試験曲の楽譜を提出すること。** （注③）　各自，楽器を持参すること。 ただし，やむを得ず楽器を持参できない場合には，実技試験カードの楽器借用欄の「要」に○印をつけること。 なお，打楽器の受験生は，各自スティックを持参すること。

声　　楽

声楽コース （・総合型選抜Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ・学校推薦型選抜B・C ・大学入学共通テスト 利用選抜（後期日程） 社会人入学試験Ⅰ期・Ⅱ期 外国人留学生入学試験Ⅰ期・Ⅱ期 帰国子女入学試験）	自由曲２曲**（暗譜）** ・伴奏者は本学で用意する。 **・伴奏者用楽譜を（変更やカットを含み，記入事項があれば記入して）提出すること。**
声楽コース （・一般選抜 ・大学入学共通テスト 利用選抜（前期日程））	下記のＡ．課題曲より１曲と，Ｂ．自由曲１曲の計２曲を演奏すること。（暗譜） Ａ．課題曲 1．Star vicino　(S.Rosa)　A-Dur 2．Sento nel core　(A.Scarlatti)　f-moll 3．Se tu della mia morte　(A.Scarlatti)　f-moll 4．Caro laccio　(F.Gasparini)　Es-Dur 5．Lasciar d’amarti　(F.Gasparini)　f-moll 6．Sebben, crudele　(A.Caldara)　d-moll 7．Per la gloria d’adorarvi　(G.B.Bononcini)　F-Dur 8．Vergin, tutto amor　(F.Durante)　c-moll 9．Nina　(G.B.Pergolesi)　e-moll 10．Nel cor più non mi sento　(G.Paisiello)　F-Dur 11．浜辺の歌　（成田為三）　As-Dur 12．さくら横ちょう　（中田喜直）　b-moll 13．浜千鳥　（弘田龍太郎）　Es-Dur 14．かやの木山の　（山田耕筰）　D-Dur 15．荒城の月　（滝廉太郎）　d-moll Ｂ．自由曲 ※自由曲については，上記Ａ．課題曲の中からの選曲も可とする。 受験上の注意 （注①）　伴奏者は，本学で用意する。 （注②）　**伴奏用楽譜については，下記のとおりとする。** ・自由曲の伴奏用楽譜を（変更やカットを含み，記入事項があれば記入して）提出すること。 （自由曲を課題曲から選択し，調を変更しない場合は伴奏用楽譜の提出は不要） ・課題曲についても，指定された調以外で歌う場合は，伴奏用楽譜を必ず提出すること。

作　　曲

作曲コース	下記の課題Ａ・Ｂによる出題　〈60分〉 Ａ．モチーフによる作曲 Ｂ．和声（バス課題）

器楽コース　管弦打楽器演奏家課程

専攻楽器別課題曲一覧

＜管弦打楽器演奏家課程＞共通事項

※スケールのうち短調は和声的短音階で演奏すること。但し楽譜が指定されている楽器については，楽譜のとおりに演奏すること。速度はモデラート。
※暗譜を指定している楽器以外は暗譜でなくてよい。
※各楽器とも，無伴奏で演奏すること。

フルート

①スケール：♯♭３つまでの長短両調から，それぞれ１つ当日指定されたものを，２オクターブで演奏すること。
②次のa）～c）のいずれか１曲を選択すること。
a）W. A. Mozart：《Flute Concerto No. 1 in G Major》（K. 313）より第1楽章（カデンツァは除く）
b）W. A. Mozart：《Flute Concerto No. 2 in D Major》（K. 314）より第1楽章（カデンツァは除く）
c）C. Stamitz：《Flute Concerto in G Major》（Op. 29）より第1楽章（カデンツァは除く）

オーボエ

①スケール：♯♭３つまでの長短両調から，それぞれ１つ当日指定されたものを，１オクターブで演奏すること。
② L. Wiedemann：《45 Etüden für Oboe》より第９番と第12番

クラリネット

①スケール：R. Eichlerの《Scales for Clarinet》より♯♭３つまでの長短両調から，それぞれ１つ当日指定されたものを演奏すること。
② C. Rose：《32 Etudes》第11番～第16番より任意の２曲
③ C. M. von Weber：《Concertino》（Op. 26）

バスクラリネット

①スケール：♯♭３つまでの長短両調から，それぞれ１つ当日指定されたものを，1オクターブで演奏すること。
②練習曲または独奏曲より任意の１曲

ファゴット

①スケール：♯♭３つまでの長短両調から，それぞれ１つ当日指定されたものを，２オクターブで演奏すること。
② J. Weissenborn：《Bassoon StudiesⅡ 第２巻》より第４番，第６番，第９番，第13番から任意の１曲

サクソフォーン

①スケール：《サクソフォーンのためのトレーニングブック》（須川展也編／音楽之友社）p. 51～52より，♯♭３つまでの長短両調から，それぞれ１つ当日指定されたものを，2オクターブで演奏すること。
② M. M. Ferling：《Quarante-Huit Ètudes》（48の練習曲）より第１番と第２番

リコーダー

① F. Brüggen：《５Etudes voor Vingerveiligheid》（Broekmans & von Poppel Amsterdam出版）より第１番
② G. P. Telemann：《12 Fantasias for Flute solo》より第７番 （アルトリコーダーで短３度高く移調して演奏すること）

トランペット

①スケール：♯♭３つまでの長短両調から，それぞれ１つ当日指定されたものを，２オクターブで演奏すること。
② J. B. Arban：《金管教則本第２巻》より《12 Celebrated Fantasies and Airs Varies》第３番〈Fantasie Brillante〉の中からイントロとテーマ

ホルン

①B dur, C dur, D dur, b moll, c moll, d mollから，長調・短調よりそれぞれ１つ当日指定されたものを，２オクターブで演奏すること。
②次のa) , b) のいずれか1曲を選択すること。
a）W. A. Mozart:《Horn Concerto No. 1 in D Major》（K. 412）より第1楽章
b）W. A. Mozart:《Horn Concerto No. 3 in E-flat Major》（K. 447）より第1楽章（カデンツァは除く）

トロンボーン

①スケール：♯♭３つまでの長短両調から，それぞれ１つ当日指定されたものを，２オクターブで演奏すること。
② J. Rochut：《Melodious Etudes for Trombone Book１》（C. Fischer出版）より第５番
③ F. Gräfe：《Concerto》よりSoloの始まりからThemaの20小節前まで
※この楽譜について，入手困難な場合には入試・広報課までお問い合わせください。

バストロンボーン

①スケール：♯♭３つまでの長短両調から，それぞれ１つ当日指定されたものを，1オクターブで演奏すること。
②練習曲または独奏曲より任意の１曲

ユーフォニアム

①スケール：《JBCバンドスタディ パートブック ユーフォニアム》（アルソ出版）p. 32～33より，♯♭３つまでの長短両調から，それぞれ１つ当日指定されたものを，２オクターブで演奏すること。
② G. Kopprasch：《60 selected studies for Tuba Book１》より第11番，第14番，第22番から任意の１曲。繰り返しを除く。
③ J. Rochut：《Melodious Etudes for Trombone Book１》（C. Fischer出版）より第15番

テューバ

①スケール：♯♭３つまでの長短両調から，それぞれ１つ当日指定されたものを，１オクターブで演奏すること。
②次のa) , b) のいずれかの練習曲集より任意の１曲を選択すること。
a）C. Kopprasch《Sixty selected studies for Trombone》（Robert King出版）
b）G. M. Bordogni作曲, W. Jacobs編集《Complete Vocalises for Tuba》（Encore Music出版）
（※43 Bel Canto Studies for Tuba Robert King出版も可）

ヴァイオリン

①スケール：次のa) , b) について，任意の調性を選択し，演奏すること。
a) C. Flesch《Scale System》より第５番の冒頭12小節
b) 小野アンナ《音階教本》（音楽之友社）より３度とオクターブ
（・a) ,b) ともにスラーはなし。
・全てレガートとする。
・指使いは自由。）
②ロマン派以降の任意の協奏曲より第１楽章（カデンツァは除く）

ヴィオラ

①任意の協奏曲より第１楽章（カデンツァは除く）

チェロ

①任意の協奏曲より第１楽章（カデンツァは除く）

コントラバス

①任意の協奏曲より第１楽章（カデンツァは除く）

ギター　（暗譜）

次のa) , b) のいずれか1曲を選択すること。
a） F. Sor：《Etudes》（Op. 31）より第1番
b） J. K. Mertz：《Bardenklänge》（Op. 13）より〈tarantella〉

ハープ　（暗譜，繰り返しを除く）

①スケール：Es durを２オクターブで演奏すること。
② F. J. Naderman：《７ Sonatas progressives》より任意の１曲（全楽章）
③任意の独奏曲１曲

打楽器　（暗譜，次のA・Bいずれかを選択）

A．スネアドラム
①練習曲または独奏曲より任意の１曲
②M. Goldenberg：《Modern School for Snare Drum》（Chappell出版）p. 46～51から任意の１曲
B．マリンバ
①練習曲または独奏曲より任意の１曲
② M. Goldenberg：《Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone》（Chappell出版）p. 64～73より任意の１曲

実技試験課題一覧

■ＨＯＮＯＲＳ特待生入学試験

すべてのコース・課程において，実技試験カードに記入した曲目順に演奏すること。

専攻	実技試験内容	受験上の注意
ピアノ	自由曲10分程度 **〈暗譜〉**	・曲数に制限なし。（ただし，10分程度とする。繰り返しは省略すること） ・各試験曲の演奏時間を，実技試験カードに記入すること。 ・すべての楽曲の楽譜のコピーを提出すること。
管弦打楽器	自由曲10分程度 〈暗譜でなくてよい〉	・各楽器共，無伴奏で演奏すること。 **・試験曲の楽譜を（変更やカットを含み，記入事項があれば記入して）提出すること。** ・譜面台は本学で用意する。 ・各自，楽器を持参すること。 ただし，やむを得ず楽器を持参できない場合には，実技試験カードの楽器借用欄の「要」に○印をつけること。なお，打楽器の受験生は，各自スティックを持参すること。
声楽	自由曲２曲 **〈暗譜〉**	・伴奏者は本学で用意する。 **・伴奏用楽譜を（変更やカットを含み，記入事項があれば記入して）提出すること。**
作曲	A．作品提出 自作品１曲の楽譜提出（コピー楽譜可） B．口頭試問 提出作品に関する試問（15分程度）	・作品の形態，楽器編成，所要時間等は自由とする。

■編入学試験（第２年次・第３年次共通）

すべてのコース・課程において，実技試験カードに記入した曲目順に演奏すること。

専攻	実技試験内容	受験上の注意
ピアノ	自由曲（10分以内） **〈暗譜〉**	・曲数に制限なし。（ただし，10分以内とする。繰り返しは省略すること） ・各試験曲の演奏時間を，実技試験カードに記入すること。 ・楽曲により，楽譜のコピー提示を求める場合は，後日直接受験生に連絡する。
管弦打楽器	自由曲１曲（７分以内） 〈暗譜でなくてよい〉	・各楽器共，無伴奏で演奏すること。 **・試験曲の楽譜を（変更やカットを含み，記入事項があれば記入して）提出すること。** ・譜面台は本学で用意する。 ・各自，楽器を持参すること。 ただし，やむを得ず楽器を持参できない場合には，実技試験カードの楽器借用欄の「要」に○印をつけること。なお，打楽器の受験生は，各自スティックを持参すること。
声楽	自由曲２曲（10分以内） **〈暗譜〉**	・伴奏者は本学で用意する。 **・伴奏用楽譜を（変更やカットを含み，記入事項があれば記入して）提出すること。**
作曲	和声　バス課題（60分）	・近親転調を含む16小節程度のバス課題を出題する。